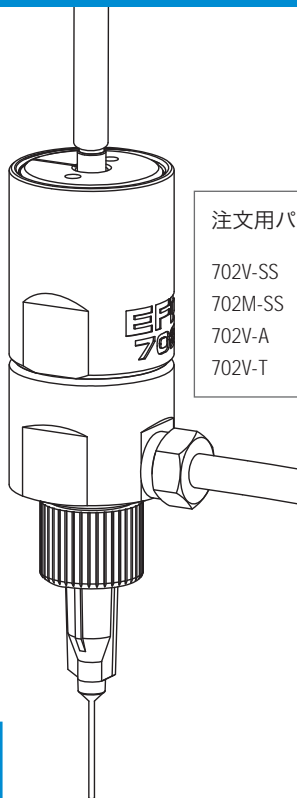


ミニダイヤフラムバルブ702シリーズ メンテナンス・パーツガイド



注文用パーツ番号

702V-SS	#7020683
702M-SS	#7020679
702V-A	#7020680
702V-T	#7013243

重要！

このガイドは大切に保管してください。

このガイドは、メンテナンス管理者にお渡しください。

ノードソンEFDの取扱説明書のpdfファイルは、www.nordsonefd.jpからダウンロードできます。

Nordson
EFD

バルブの分解組立手順

接液ボディー

1. 接液ボディーを反時計回りに回して、シリンダーボディーから外します。接液ボディーを取り外すと、ダイヤフラムが緩む、あるいはピストンロッドから外れることがあります。その場合は、接液ボディーを再度組み立てる前に、ダイヤフラムを取り付けてください。
2. 接液ボディーを再度取り付けるには、時計回りにシリンダーボディーにトルク8.1~10.8Nm（6~8フィートポンド）で締めつけてください。

注文用パーツ番号

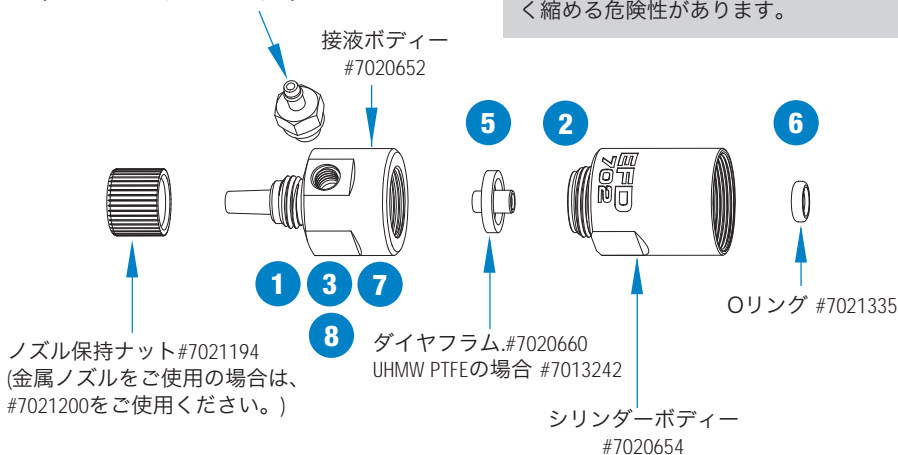
702V-SS #7020683

702M-SS #7020679

702V-A #7020680

702V-T #7013243

702V-SS用継手#7020671
(702M-SSには、オプション)



ダイヤフラム

3. 接液ボディーを反時計回りに回して、取り外します。
4. シリンダーボディーにピストンロッドまでの貫通穴があいていますので、この穴に六角レンチを通してください。ピストンロッドが回らないように六角レンチで固定しておきます。
5. ダイヤフラムを反時計回りに回して、ピストンロッドから外します。
6. ピストンが回らないように六角レンチを押さえておき、ダイヤフラムを取り付けます。ゆっくりとダイヤフラムをピストンロッドに締めつけます。
7. シリンダーボディーに対して接液ボディーを時計回りに回して取り付けます。トルクは、ステップ2の値に倣ってください。

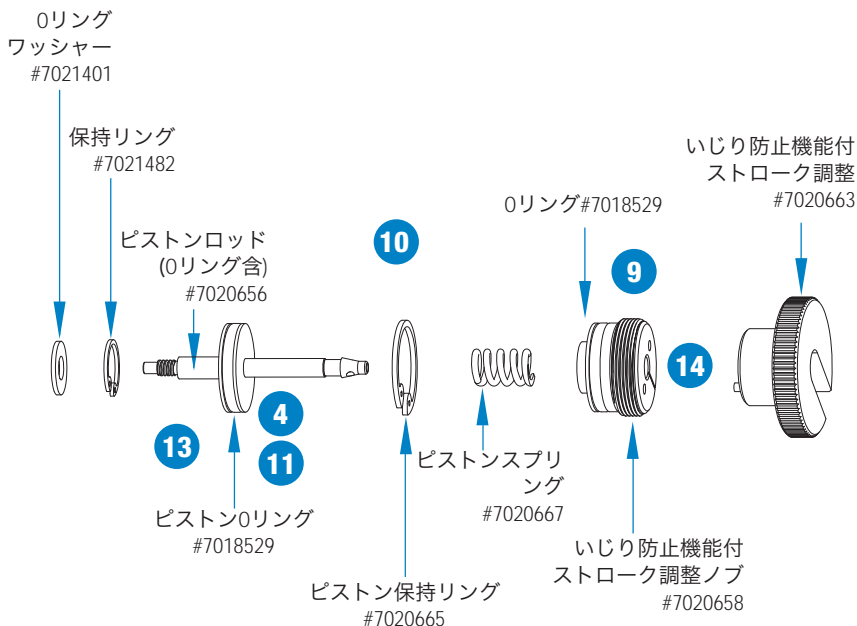
重要： PTFEテフロン製のダイヤフラムの場合、ストロークを1/2回転以下回して開けてください。ストローク設定を1/2以上にした場合、ダイヤフラムの寿命を著しく縮める危険性があります。

ピストン0リングとシリンダーボディ

8. 接液ボディーとダイヤフラムを取り外します。
9. ストローク調整ノブとピストンスプリングを反時計回りに回して取り外します。
10. ピストン保持リングを取り外します。
11. ピストンを取り外します。
12. シリンダーボディ0リングワッシャーをシリンダーボディの中から取り外します。
13. 0リング、ピストンシャフト、シリンダーボディをNyc#865潤滑剤で潤滑します。
14. 分解したのと逆の順番で再組立します。

必要工具

- 6" モンキーレンチ (2)
- 6" ニードルノーズプライヤー
- 六角レンチ
- スナップリングプライヤー
- いじり防止機能付きストロークキー (#7020663)



トラブルシューティングガイド

液剤が吐出されない

- バルブ駆動エアの圧力が低すぎる場合、バルブは開きません。エア圧を最低でも70psi(0.48MPa)まで上げてください。
- タンクのエアー圧が充分でない。エア圧を上げてください。
- ノズルが詰まっている。ノズルを交換してください。
- ストローク調整が閉じている。ストローク調整を開いてください。
- バルブ内で液剤が固化している。接液ボディを洗浄してください。

バルブが閉じたあと、液漏れが見られ、徐々に止まる

- この現象は、接液ボディの吐出部にエアが溜まっている、あるいは液剤にエアが混入している場合に見られます。エアはバルブが閉じたあとに膨張し、エアが大気圧に等しくなるまで液剤を押し出します。エアが見られなくなるまで液剤を定量で吐出し、パージを行なってください。径の小さいノズルを使用している場合、ノズルアダプターからエアを抜くのに充分な液剤を吐出できない場合があります。そのときは、ノズルを外してください。
- 液剤にエアが混入しているときは、吐出を行なう前に脱泡してください。

バルブが閉じたあと、継続的に液漏れがみられる

- 継続的に定量の液漏れをする場合は、タンク圧が高すぎる可能性があります。タンク圧が70 psi (0.48Mpa)を超えていないかご確認ください。
- ストローク調整ノブを2回転以上開けると、タンク圧が高くなり、ダイヤフラムが開きます。ストローク調整ノブが、2回転以上回されていないかご確認ください。
- 継続的に定量の液漏れをする場合は、液剤粒子の堆積あるいはダイヤフラムの磨耗のために、ダイヤフラムが完全に閉じられていないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。

液剤が接液ボディとダイヤフラムの間から漏れる

- 接液ボディとダイヤフラムの間からの液

漏れは、接液ボディの取付が緩いことが考えられます。正しいトルクで締めつけてください。

駆動エア入力口下のドレインから液剤が出る。

- 駆動エア入力口のすぐ下に、放熱用の通気孔がありますが、ここから液剤が出る場合は、ダイヤフラムが破損していることが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、ダイヤフラムを交換してください。
- PTFEテフロン製のダイヤフラムの場合は、ストローク調整が1/2回転以下に開いていることを確認してください。1/2以上の場合は、ダイヤフラムの寿命を短めます。

バルブ開閉のレスポンスが遅い

- バルブのレスポンスは駆動エアチューブの長さや径に関係しています。702Vには、内径3/32"の約150cmのチューブが同梱されていますが、これより長い、あるいは太いチューブをご使用になると、レスポンスに影響がでます。異なった長さ、内径のチューブを使用していないか確認してください。

吐出が不安定

- バルブ駆動や液剤タンクへの供給エア圧が一定ではない、あるいはバルブ駆動エア圧が70 psi (0.48MPa)未満の場合、液剤吐出が不安定になる場合があります。エア圧が安定しており、駆動エア圧が70 psi (0.48MPa)に達しているかご確認ください。
- バルブの開放時間は一定である必要があります。バルブコントローラーが正しい出力を行なっているかご確認ください。

ノードソン株式会社EFD ビジネスグループ
Tel : 03-5762-2760 Fax : 03-5762-2737
japan@nordsonefd.com www.nordsonefd.jp
USA & Canada: 800-556-3484 +1-401-431-7000
info@nordsonefd.com www.nordsonefd.com

WAVEデザインは、Nordson Corporationの登録商標です。
©2010 Nordson Corporation 7020651-09 v050510

